

第5回 丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会 次第

日時：令和8年7月17日（金）19時30分～

場所：春日福祉センター「ハートフルかすが」

1 開会

2 春日地域市立小学校統合検討委員会での協議経過について【資料1】

3 報告・協議事項

（1）黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会の進捗状況について【資料2】

（2）令和8年度春日地域小学校区毎人口推移について（0歳児～中学3年生）【資料3】

（3）春日地域市立小学校の今後の在り方について（意見交換）

（4）その他

4 次回委員会の日程について

・日 時 月 日（ ）19時30分～

・場 所

5 閉会

This image shows a full page of a worksheet designed for handwriting practice. It features multiple rows of horizontal dashed lines spaced evenly across the page, providing a guide for letter height and placement. The background is plain white, and there are no other markings or text present.

春日地域市立小学校統合検討委員会の協議経過（概要）

開催	協議内容（概要）
第 1 回春日地域市立小学校統合検討委員会（全体会） （令和 7 年 7 月 28 日）	・ 正副委員長の選出 ・ 丹波市立学校適正規模・適正配置方針（概要）、丹波市の人口推移、小学生数の推移状況、船城地区における船城小学校の在り方に関する検討経過の概要について ・ 今後の進め方について 【協議結果（概要）】 （1）正副委員長選出〔委員長：黒井地区自治会長会会長、副委員長：進修小学校保護者代表〕 （2）次回は黒井小学校と船城小学校の統合の方向性に関する意見交換会とする。また、春日地域内全小学校の協議をどうするかということについても意見交換を行う。
第 2 回春日地域市立小学校統合検討委員会（全体会） （令和 7 年 8 月 28 日）	・ 青垣地域市立小学校、市島地域市立小学校の統合経過の概要について ・ 青垣地域、市島地域等の統合協議の整理、市島地域市立小学校統合に係る整備内容について ・ 区域外就学制度と学校選択制について ・ 船城小学校の統合検討と春日地域市立小学校全体の考え方について 【協議結果（概要）】 （1）黒井小学校と船城小学校の統合検討については、検討委員会の地域部会を設置する。 （2）検討委員会の全体会では、春日地域の全小学校の在り方について今後も継続的に協議する。
第 1 回春日地域市立小学校統合検討委員会黒井・船城地域部会 （令和 7 年 10 月 17 日）	・ 正副部会長の選出 ・ 黒井小学校と船城小学校の統合検討について 【協議結果（概要）】 （1）正副部会長選出〔部会長：黒井地区自治会長会会長、副部会長：船城地区自治会長会会長〕 （2）部会で協議すべきテーマと、委員個人としての不安、質問などを事務局に事前に報告し、出てきた意見や提案をもって次回会議で協議することとする。

開催	協議内容（概要）
第3回春日地域市立小学校統合検討委員会（全体会） （令和7年11月18日）	・黒井・船城地域部会から報告事項 ・「今後の春日地域市立小学校の在り方」について意見交換（4人程度のグループワーク） ・各グループでの意見を発表（意見の共有） 【各グループで出た意見（抜粋）】 ・春日地域で将来的に1校ということを考えていくべきではないか。 ・認定こども園単位で考えてみるのはどうか。 ・統合しても地域の特色を学べる教育をしてほしい。 ・こどもを中心に考えていくべき。 ・春日地域で1校、小中一貫教育がよいのでは。 など
第2回春日地域市立小学校統合検討委員会黒井・船城地域部会 （令和7年12月17日）	・委員からの意見の共有（協議テーマ、質問など） ・地域部会で協議すべき事項について 【協議結果（概要）】 統合時期は令和10年度、場所は黒井小学校で、校名は黒井小学校とすることを地域部会の原案として、この原案を持ち帰り協議し、その結果を次回会議で報告することとする。
第3回春日地域市立小学校統合検討委員会黒井・船城地域部会 （令和8年2月10日）	・地域部会の原案について船城地区から報告 ・船城小学校でのこどもの意見聴取について報告 【協議結果（概要）】 黒井・船城地域部会の方針を決定した（統合合意）。 ・統合時期は、令和10年度を目標とする。 ・校名は、丹波市立黒井小学校とする。 ・校舎は、現在の黒井小学校の校舎とする。 黒井地区と船城地区を新たな校区として、共に学び合える黒井小学校を創っていくことを委員全員で共有した。
第4回春日地域市立小学校統合検討委員会（全体会）（地域部会終了後） （令和8年2月10日）	・船城小学校と黒井小学校の統合検討の結果について（黒井・船城地域部会） ・船城小学校でのこどもの意見聴取について報告 ・春日地域市立小学校の在り方に向けた議論の進め方について 【協議結果（概要）】 黒井・船城地域部会の方針どおり、黒井小学校と船城小学校の統合について、出席委員全員の賛成により検討委員会で決定した。今後の具体的な協議については、統合準備委員会を新たに設置し協議していくこととする。 春日地域市立小学校の在り方については、今後も継続して協議する。

第3回検討委員会(全体会)のグループワークで出た意見 (模造紙の内容)

※黄色マーカー箇所は将来の在り方に関すること

A

- ・将来を見据えると、春日地域で1校とする。
- ・遠い将来、春日地域で1小学校
- ・黒井・船城だけでなく、進修・春日部・大路も考えていく必要がある。将来的には春日一本化も考えていく必要がある。
- ・まずは花の子園地域と森の子園地域の統合 (2小学校)
- ・説明会の規模と方法(自治会単位)
- ・地域の合意形成の順序や方法
- ・統合までの各小学校へのフォロー
- ・統合するまでに交流会を沢山設け、不安を解消させる。
- ・オープンクラス
- ・小中一貫校
- ・春日地域なら子供たちの自由選択
- ・春日中の近くに春日小を作ってほしい。統合が一回で済む。
- ・校舎、校名変更をどうするか。
- ・学校が閉まる地域の活性化
- ・こどもの意見
- ・統合後の地域をどうするか。地域交流が心配
- ・説明会をするのか、現状の報告が先か、アンケートを出すべきか迷っている。
- ・統合後、今と同じ教育を受けられるのか。
- ・地域部会を黒井・船城の西部だけでなく東部も。

B

- ＜勉強会＞
 - ・有識者(民生委員、児童委員)メリット、デメリット
 - ・統合した学校の見学、統合委員会メンバーの方との意見交換
 - ・統合した学校の児童、保護者、先生の話を聞く場
 - ＜認定こども園＞
 - ・花の子園→黒井・船城
 - ・森の子園→春日部・進修・大路
- 認定こども園ができた経緯、どのように地域分けしたのか。

E

- あり方ってなに！？
- ↓
- 春日で1つの小学校ー中学の横に小学校
- ↓
- キャンパス制度
- ・他の3校区の興味をいかに高めるか。
- ・1校9年制
- ・先に黒井・船城をどうしたら統合できるかを考える。

委員会

校章部会 校歌部会 黒井・船城部会 場所部会

D

- 【統合に向けて】
- ・今後10年、20年後になると春日は2つの小学校になることになる。
- ・森の子は大路、進修、春日部、花の子は黒井、船城と分けられているのでこのセットで統合すれば子供たちも離れ離れになることがないのいいと思う。
- ・大路、進修、春日部も今すぐにはないが、統合することを少しずつ考えざるべきだと思う。
- ・春日も小学校の統合に向けて進むべきだ。春日地域に1小学校を。
- ・春日地域の中で統合を何回か繰り返すと費用もかさむし、校歌など何度でも作り直さなければならぬ。

【地域のあり方】

- ・地域から学校がなくなると地域が衰退するのではないかと心配もあるが、以前ほど心配は少なくなってきたように思う。
- ・人口の減少、高齢化率の上昇は若い人が少なくなる。学校の規模も大きな要因
- ・地域、地区、自治会の境界がなくなってくるのでは。学校の境界もなくなるのでは。

【こどもの事を考えて】

- ・統合に向けては、地域住民の意見もさることながら、こどもを持つ保護者の意見を最優先すべきである。
- ・船城、黒井は少しでも早く統合すべきだと思う。年配者、大人の気持ち、プライドを優先するよりもこどもたちの事を一番に考えるべきだと思う。
- ・メリット、デメリットは表裏一体。子ども中心に考えるべき。

【地域住民の意見も聞きたい】

- ・地域、自治会などの意見が想像できないので視野が広がらないので意見を聞きたい。
- ・今までの大路小学校、第1、第2小学校の合併などのこれまでの歴史を知りたい。

C

- ・こども園区域での統合、その後は1校へ統合
- ・最後は春日1校
- ・今後は春日町で1校に。
- ・将来的には1校に。
- ・1校にする時は春日の中心地区で。
- ・最初は地域、地形で。
- ・統合はどこでも自由に。
- ・春日地区外でも丹波市であるので市島地区の小学校でも。
- ・小学校で複式学級でない所も考える必要有
- ・丹波市内の小学校を自由選択できるように。
- ・町外の小学校への通学も可としてほしい。
- ・少子化が進んでいるので船城、黒井以外も進行すべき。
- ・とりあえずこども園単位で。
- ・各地域の特色が学べる学校
- ・地域性を残した合併を。
- ・子どもたちが楽しく学べる環境をつくってほしい。
- ・不登校児童もフォローできるように。
- ・多人数で学習、生活する事により、社会性を育んでほしい。
- ・どんな統合でも丹波市教委が対応してくれるので、あまり心配しなくてもよい。

黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会に係る協議経過（概要）

開催	協議内容（概要）
第1回黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会 (令和8年4月30日)	・正副委員長の選出 ・春日地城市立小学校統合検討委員会の協議経過（概要）の説明 ・船城小学校でのこどもの意見聴取について報告 ・黒井・船城地区小学校の統合に係る必要となる協議・調整、今後の予定について説明 ・統合後のアフタースクールについて ・船城地区児童の通学支援について 【協議結果（概要）】 (1) 正副委員長選出〔委員長：黒井地区自治会長会会長、副委員長：船城地区自治会長会会長〕 (2) 統合後のアフタースクールの開設場所については、現在の黒井アフタースクール開設場所は老朽化や収容人数等に課題があるため、黒井小学校東校舎を改修し、移転して開設することで同意を得た。 (3) 船城地区児童の通学支援については、路線バスによるものではなく、スクールバスによる通学方法とし、黒井小学校近隣道路の状況を考慮してワゴンタイプの車両によるもので概ね理解を得られたが、第2回目の委員会で再度確認を行う。 (4) アフタースクールの開設場所の移転、船城地区児童の通学支援によるスクールバスの運行など、黒井小学校の近隣道路の交通量が増加する見込みがあるため、安全対策については今後、地域や道路担当部署等と調整を行う。
第2回黒井・船城地区市立小学校統合準備委員会 (令和8年6月8日)	・黒井小学校児童の意見聴取について ・船城地区児童の通学支援（スクールバス）について ・通学児童及びアフタースクール利用者等の安全対策について 【協議結果（概要）】 (1) 船城地区児童の通学支援については、通学方法はスクールバスによるものとし、車両はワゴンタイプの車種で運行することで同意を得た。 (2) スクールバスの乗降バス停、運行ルートについては、船城小学校が中心となり保護者・地域住民の意見を集約し、教育委員会と協議のうえ決定する旨を報告した。 (3) 黒井小学校近隣道路の安全対策については第2回準備委員会開催前に近隣住民への説明会を実施し、アフタースクール利用保護者及びスクールバスの運行経路を一方通行とすることで理解を得た。また、道路拡幅や防犯灯の設置等、要望いただいたものを関係機関と協議のうえ、実現可能かどうかどう

開催	協議内容（概要）
	か報告する。 （４）黒井小学校近隣道路の道路状況を全委員が認識できるために７月中に現場確認を行うこととする。

春日地域小学校区別児童・生徒数の推移

【年齢別人口統計表 R8. 4. 30時点】

R10学校統合（黒井小学校）																		
学校名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	就学前計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学校計	中1	中2	中3	中学校計
①黒井小学校	24	11	21	20	31	27	161	23	33	30	23	31	38	178	25	42	32	99
②船城小学校	4	6	1	6	0	10	27	4	6	7	9	9	8	43	15	8	8	31
①～②計	28	17	22	26	31	37	188	27	39	37	32	40	46	221	40	50	40	130
																		
③春日部小学校	9	13	14	14	14	13	77	19	22	16	18	23	18	116	16	18	23	57
④大路小学校	10	6	5	7	13	13	54	17	10	15	20	11	11	84	18	14	15	47
⑤進修小学校	4	6	16	11	17	14	68	15	13	19	15	13	15	90	17	18	23	58
③～⑤計	23	25	35	32	44	40	199	51	45	50	53	47	44	290	51	50	61	162
																		
春日地域①～⑤	51	42	57	58	75	77	387	78	84	87	85	87	90	511	91	100	101	292

10人未満の年齢
兵庫県基準で2つ以上の学年の児童数の合計人数が14人以下（第1学年を含む場合は8人）の場合は複式学級